



小城市立歴史資料館 ✿ 中林梧竹記念館だより

小城市立中林梧竹記念館 令和3年度第3期収藏品展開催中

記念館収藏品展「梧竹の墨絵」を開催中です。梧竹は書ばかりではなく梧や竹などの絵も数多く残しています。

今回の収藏品展では、梧竹の墨絵を展示しています。梧竹の絵の魅力を堪能していただければ幸いです。

◆期間 ～4月17日(日)

◆場所 中林梧竹記念館 常設展示室

◆観覧料 200円(大学生以下無料)



▲展示作品(富士山図)

佐賀大学交流事業講演会が開催されました

11月13日と12月4日に歴史資料館研修室で佐賀大学交流事業に伴う講演会が開催されました。

講師に伊藤昭弘さん(佐賀大学地域学歴史文化研究センター長)と青木歳幸さん(佐賀大学地域学歴史文化研究センター特命教授)を迎えて行いました。

演題はそれぞれ「疫病と小城」「天然痘と闘う小城市の医師たち」で、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲講演会の様子

おぎの歴史探検隊

吉田茂を陰で支えた辰巳栄一(その1)

吉田茂は戦後の日本で5度にわたって首相になり、現在も名宰相と呼ばれる政治家です。その吉田が重用したブレインの中に、“光と陰”のような存在の二人の人物がいます。一人は経済人として活躍し、GHQとも正面から渡り合った白洲次郎。そしてもう一人が、元軍人の立場から吉田を陰で支えた辰巳栄一です。

辰巳栄一は明治28(1895)年1月19日、小城町正徳町に生まれました。藩政時代の辰巳家は、小城藩の藩金御用達をつとめる家柄でした。父親を早くになくした栄一少年は、神埼の叔父の家に預けられ、そこから旧制佐賀中学校(現・佐賀西高等学校)まで、徒歩で通ったのだとか。辛い通学ですが道すがら懸命に英単語を覚え、のちに彼は陸軍を代表する英語の達人になりました。卒業後は、学費の不要な

東京の陸軍士官学校へと進学し、猛勉強のすえに陸軍大学校に入学します。

優秀な成績で陸大を卒業した辰巳に、得意の英語力を活かすときが訪れます。昭和6(1931)年、英国の日本大使館付の駐在武官補佐官に任命されたのです。それは彼の生涯で計3度を数えたロンドン勤務の、最初の一步でした。(続)

小城郷土史研究会/著



◀正徳町の家並み

◆開館時間 9時～17時

◆休館日 毎週月曜日・祝日

小城市ホームページから

梧竹・歴史資料館・文化財

検索

【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132